

2025（令和7）年 IEC活動推進会議（IEC-APC）議長賞受賞者

電気・電子分野の国際標準化機関であるIEC（国際電気標準会議）の活動は、市場のグローバル化に対応してますます重要性が高まっています。IECへの日本の貢献と産業界の意見反映を目的に平成3年に設立されたIEC活動推進会議（IEC-APC）は、日本提案のIEC分野で顕著な貢献をした個人またはグループを毎年表彰しています。

本年は14名を、令和7年5月21日(水)の第35回IEC活動推進会議総会で表彰しました。



（後列・左から： 山下氏、松澤氏、辻氏、高橋氏、先崎氏、東海林氏、島先氏、大嶋氏）

（前列・左から： 上原氏、上野氏、朝日JSA理事長、小太刀経済産業省国際電気標準課課長、森田IEC-APC議長代理、池田氏、飯島氏、三好氏）

（ご欠席：中林氏）

※受賞者の所属企業・団体については、活動期間における主な所属先を示します。

議長賞（敬称略・50音順）

飯島 拓也 [元・東芝インフラシステムズ株式会社]

機械工学の豊富な知見を活かし、流量計評価規格開発の国際プロジェクトリーダーを務めた。さらに、アセット管理シエルの中核メンバーとして原案作成など、規格開発に貢献した。また、ドイツ標準化ロードマップの解説書作成などルール形成に貢献している。

池田 靖 [ミネベアパワーデバイス株式会社]

池田氏は、2023年1月から現在に至るまでIEC/TC 91(電子実装技術)の国際幹事を2年以上担当し、IS 21件、TS 1件、TR 4件の発行、4回の国際会議開催に貢献している。

上野 伸二 [オムロン株式会社]

IEC/TC 22/SC 22・TC 108・TC 94の国内・国際委員として電源やリレー・タイマのIEC規格改定やJIS原案作成に貢献、特にTC 94/WG 4では国内委員会主査と国際のコンビナを務め、我が国の意見の反映と安全で安心できる製品を生み出す国際規格への改定に貢献した。

上原 まひる [ソニーグループ株式会社]

IEC/TC 100の国際幹事として、技術や環境の変化に即した標準化活動が推進されるよう傘下Advisory GroupおよびTechnical Areaの再編を主導し、TC 100の規格開発活動の活性化・効率化に貢献した。

大嶋 浩正 [大塚電子株式会社]

IEC/TC 110(電子ディスプレイ)の標準化活動において、専門である光学測定に関する標準化文書 (IS) を成立させた。また、IEC/TC 110/WG 12アイウェアディスプレイでコンビナを務めるなど、国際間の協調を推進するとともに、日本の国益に合うよう戦略的に活動してきた。

島先 敏貴 [一般社団法人VCCI協会]

島先氏はIEC/CISPR/CIS/A、CIS/H、CIS/Iの各エキスパートを務めており、CIS/A/JAHG 6では我が国提案の装置の仕様を国際規格に反映すること等に深く貢献し、IEC 1906賞を受賞している。また、CISPR 16の国内答申作成のリーダを務め、我が国の電波行政に貢献している。

東海林 衛 [パナソニックオペレーショナルエクセレンス株式会社]

2016年からのIEC/TC 108 (AV、IT機器の安全性) の国内委員、その後、国際オブザーバを経て、2022年から国際エキスパートとして、開発製造業者の立場からAV、ICT機器の安全規格IEC 62368-1の第3版、第4版への国内意見反映・改良と国内外の安全規格の標準化活動の発展に貢献。

先崎 純寿 [国立研究開発法人産業技術総合研究所]

IEC/TC 47/WG 5のプロジェクトリーダ及びエキスパートとしてIEC 63068シリーズ(炭化珪素 (SiC) エピ欠陥の非破壊検査方法)5件の国際標準化を主導し、次世代パワー半導体デバイス業界の国際競争力強化に大いに貢献。

高橋 正雄 [元・東芝インフラシステムズ株式会社]

高橋氏は光ファイバセンシング分野の標準化を行うTC 86/SC 86C/WG 2国内および国際委員として貢献し、プロジェクトリーダとして国際規格IEC 61757-4-3 (光電流センサ) およびIEC 61757-7-3 (光電圧センサ) の2規格を成立させた。

辻 俊伸 [住友電気工業株式会社]

2013年からIEC/TC 7 (架空電気導体) 国内委員、および規格審議委員会の主査として活動。また、国際エキスパートとしても国際会議に積極的に参加し、日本に不利になる規格改定の阻止や、日本の規格を国際規格に入れ込む活動などに貢献した。

中林 種広 [元・株式会社 村田製作所]

IEC/TC 40 (電気機器用コンデンサ及び抵抗器) 国内委員長、IEC/TC 40/WG 36コンビナ及び MTプロジェクトリーダとして、多くの日本発の提案を国際規格へ反映させ、日本の地位の確立、国際標準化活動の主導的な推進、国際規格の制定、改定に貢献した。

松澤 浩彦 [株式会社 図研]

IEC/TC 91 の電子実装技術分野において、部品内蔵基板関連のWG 6はもちろん、WG 12,WG 13,WG 15にも貢献をした。エキスパートとして、各規格案の裏付け (業界調査や実証実験、活用フェーズの探索) などを推進・規格成立に貢献した。

三好 淳之 [三菱電機株式会社]

IEC/BACの初代日本代表委員を2022年1月から2024年12月まで務め、IECの予算、財務、販売、ITシステム等の方針・計画策定において、各メンバー国の代表委員がNC実務者の視点でIEC/SECの活動を監督するという役割の明確化や、Smart規格プロジェクトの管理体制見直しに貢献した。

山下 寛己 [三協電精株式会社]

IEC/TC 91/WG 15の設計自動化電子機械製品の試験方法の分野において、エキスパートおよび国内主査として、長年にわたり標準化を推進し、さらに欧米技術が主流である本分野において、実証実験を通じ欧米の賛同も受け、日本提案の標準化を推進中。

以上